



◎宇治川ハエ・ゴリ産卵床造成講習会

日 時：令和2年8月6日（木）午前10時～正午頃

集合場所：京滋バイパス宇治川橋梁下流右岸河川敷

主催：宇治川漁業協同組合 共催：京の川の恵みを活かす会、

参加者：9名

内容： 講 話 整備に必要な条件と具体策について

講師 京都大学准教授 竹門康弘様

講 習 砂州に於ける成魚・仔魚の生息場所の造成作業



◎下三栖樋門撤去に係る生物調査を実施

日 時：令和2年6月17日（水） 10:00～

場 所：伏見区下鳥羽六反町 東高瀬川

参加者：10名

内 容：下三栖樋門撤去に先立ち東高瀬川に生息する魚類、甲殻類の生物調査を京都市洛南土地改良区から依頼されたため、活かす会の構成員でもある京淀川漁業協同組合の組合員の方と共に水生生物調査を実施した。



◎高野川生物モニタリング

日 時：令和3年2月28日（日） 10:00～

場 所：左京区大原 高野川

参加者：8名

内 容：高野川上流大原地区において川に生息する魚類、甲殻類の生物調査を実施した。



◎賀茂川生物モニタリング

日 時：令和3年2月28日（日） 14:00～

場 所：北区雲ヶ畑 賀茂川

参加者：8名

内 容：賀茂川上流雲ヶ畑地区において川に生息する魚類、甲殻類の生物調査を実施した。



◎その他、以下の調査等を行った。

- ・潜水調査 鴨川の出町柳周辺、名神高速橋脚下～九条、九条～三条にかけて、京都大学大学院横田康平氏が潜水調査を実施。鴨川に潜り、確認できた魚類の種名や数を記録した。



- アユ、サツキマスのDNA解析

鴨川のアユが放流された湖産アユか海産アユかを調べるために民間専門機関においてアユのDNA解析を実施。湖産か海産かを調べることによって、海からの連続性が確保されているかの検証、魚道設置等の河川整備の効果も検証することができる。

- アユ、サツキマスの耳石解析調査

アユの耳石を化学解析することによって、そのアユが海に下った履歴の有無を調べることができる。

- 木津川における竹蛇籠と中聖牛の製作講習会

11月21日(日) 12:30-16:00 竹蛇籠製作設置講習会

12月5日(月) 9:30-16:00 中聖牛設置

伝統河川工法を伝承する総勢5名の講師陣をお招きして竹蛇籠制作の講習会を行った。





◎活動中間報告会を開催

日 時：令和2年8月23日（日） 13:00～16:00

場 所：京都教育文化センター（京都市左京区）

参加者：24名

内 容：竹門代表より令和2年7月末までの活かす会の活動報告、鴨川で行われた魚類遡上調査の説明・結果報告、保津川漁協と桂川流域ネットワークによる桂川3号井堰における魚類汲み上げ調査の説明が行われた後、魚類遡上調査等にご協力いただいた皆様から感想・ご意見をいただき、参加者全員で今後の活動計画を含め、意見交換を行った。



◎京都水辺保全ネットワーク行政懇談会に出席

日 時：令和2年8月28日（金）

◎川の恵みを活かすフォーラムを開催

日 時：令和2年10月25日（土） 13:00～17:30

場 所：キャンパスプラザ京都 講義室（京都市下京区）

参加者：82名

内 容：令和1年度の活動報告及び、今後の川をよくするための活発な意見交換が行われた。



◎川の恵みの食味体験会を開催

日 時：令和2年11月7日（日） 11:00～15:00

場 所：キッチン石黒（京都市伏見区）

参加者：82名

内 容：今年は、新型コロナウイルス感染症のため多くの参加者が一同に集まることができなかったため、参加者を時間帯で分けて、活かす会で開発した川魚などを原料にした加工食品を持って帰ってもらう形で開催した。会場が商店街にあったため飛び入りでの参加者も多数あり、普段口にすることのない食品に興味を持ってもらえた。



■活かす会 各種会合等

- 総 会 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため書面での総会となった。
- 役員会（第1回） 令和2年4月17日（金） 15:00~18:00
 於：京都市役所産業観光局 会議室
- 役員会（第2回） 令和2年7月2日（木） 13:30~15:30
 於：京都市役所産業観光局 会議室
- 役員会（第3回） 令和2年9月28日（月） 15:00~17:00
 於：京都市役所産業観光局 会議室
- 役員会（第4回） 令和3年3月2日（火） 15:00~17:00
 於：京都市役所産業観光局 会議室